

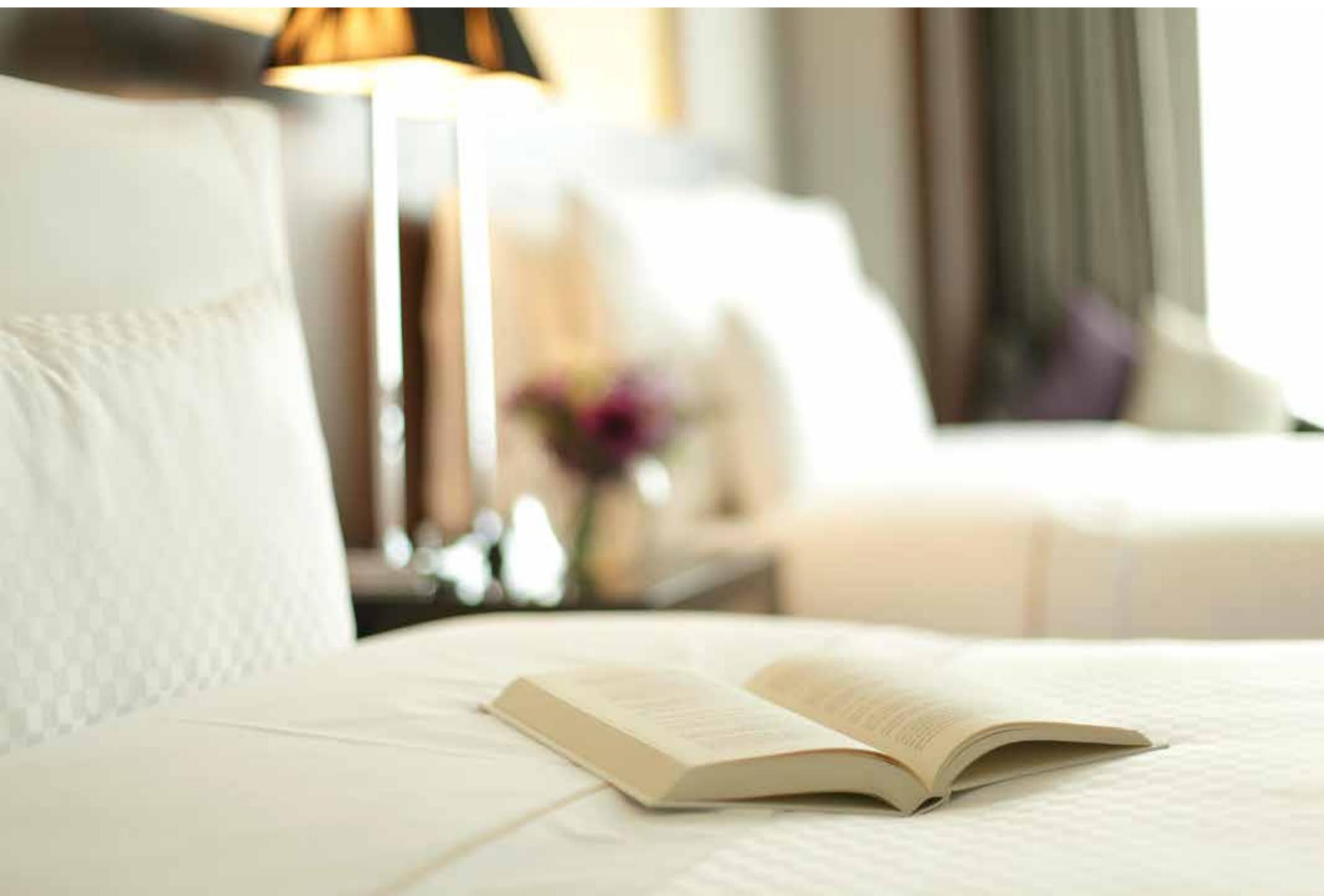
# THE WESTIN

SENDAI

12ヶ月のブログリレー

わたしの仙台ストーリー

2月の旅人





- ・この地図は Google マップサービスを利用しています。
- ・地図内のルートは旅人の訪問地、訪問順に基づき、Google マップの仕様に合わせておすすめのルートを作成したもので、旅人が実際に使用したルートと異なる場合があります。
- ・当データからリンクしている Google マップページについては、Google の責任の下、管理されているものであり、Google に起因する不具合等について当ホテルはいかなる責任も負いません。



# 2月の旅人

菅原 容子 様 [ 神奈川県・女性 ]

街歩き、カフェやホテルでのひとときなど、極上の“大人の時間”を楽しむひとり旅をしたい。



お嬢様と楽しい時間を過ごされたバングレさんからブログリレーのバトンを受け取りました菅原容子と申します。よろしくお願いたします。

伊集院静氏は、その著書「大人の流儀」の中で目的を失っている若者に旅を勧めています。旅になにがあるかは旅に出てみるとわかると。

旅が大好きです。そしてたまに一人旅に出かけたくくなります。一人旅には私なりのコツがあります。それは「ほんの少しだけ、いつもより贅沢」を自分にプレゼントすることです。

ブログリレー2月を担当させていただくことで、今回は少しどころか、とびきり贅沢なホテルステイをさせていただきました。

東京駅から仙台へ、そして仙石線で松島海岸駅へ、旅はこんな風に始まりました。

「松島や、ああ松島や、松島や」  
芭蕉の句ではないと聞いても、これ以上松島を表現する言葉はみつきりません。坂上田村麻呂が建立したといわれる**五大堂**へ

その五大堂の前に広がる光る海と点在する島々の美しさに、ただただ大きいため息をつくばかりです。

初めてここに来たのは小学生の頃、蒸気機関車に乗って、祖父に岩手の生家に連れていってもらう前に立ち寄りました。その時には船に乗った印象ばかりが強く残り、これほどの感慨はありませんでした。あの時と同じ海なのに、歳をとるのも悪くはありません。この光景を深く、深く心に刻みました。

2月

12ヶ月のブログリレー  
わたしの仙台ストーリー



伊達政宗公、孫光宗の霊廟のある円通院はお庭から、お堂へと拝観させていただきました。

木立の中を進むと瑞巖寺です。修復中で本堂は見る事が出来ませんが、そのかわり国宝の庫裏が拝見できました。また、博物館で開催されていた「道釈画の世界」展を観ることが出来たのも幸運です。

海岸近くにこれだけの文化遺産が受け継がれている、年月の重みと伊達家の隆盛に感じ入ります。



帰路、鹽竈神社のお参りをするために仙台に向かう仙石線を途中下車しました。

まずは腹ごしらえ、ここまできたらお寿司ですね。

さあ、美味しいものを食べて元気増、趣きのある道をすすみます。

春を待つお地藏さまにも  
かすかに暖かい陽が

石仏の両側に縁結びの願いを託された  
可愛いこけしがぎっしりと並んでいます。



が、…知りませんでした。鹽竈神社の参道がこんな階段だなんて…はあ～～。

どうする？ここで引き下がるわけにはいきません。大きく息をすい、いざ出発…、途中で座りこみながら、とにもかくにも這い登りました。お参りを済ませると、ウォーキング中らしい紳士（後に82歳と知る）が境内をご案内くださいました。

毎日あの階段で鍛えているらしく、足が速くてとてもおいつけませんが途中で待っていてくださり「あの海がいつもと違ってね、それからみんなここまで避難して」と。もう二年前、いえまだ二年前の出来事。

私は頭をたれ、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするしかできませんでした。結局道に迷いそうな私を駅までご案内くださり、変わらぬ速さで遠ざかっていかれました。一期一会に感謝です。



2月 12ヶ月のブログリレー  
わたしの仙台ストーリー



アミューズをいただく時の空の色



デザートをいただく時の空の色



仙台にもどり、3時にホテルチェックイン。さあ、楽しみにしていたホテルライフの始まりです。旅の夕暮れ時の空が好きです。

空の移ろいを感じながら、シェフのご丹精を味わい、今日1日の出来事を思い返します。あまりに美しく、それぞれが凝ったお味で少々食べ過ぎてしまいました。というわけで植木鉢に生地を入れて焼きあげた北海道全粒粉のパンを1/4切れしかいただけなかったのが心残りです。

程よいタイミングでときおりスタッフが声をかけてくださいます。「蔵王の山あたり、雲が降りてきました。天気が崩れるかもしれませんね」

夜中にふと目を覚まして開けておいたカーテンの外に目をやると、まるで雲の中にいるようです。寝心地の良いベッドでふわふわと…雲の中で夢うつつ、ああ、ここはまるで天国です。

朝、空は青く、町は白く輝いていました。「仙台は雪が降るとよいのですよ」と勤務先で宮城出身の先輩の言葉を思い出しました。

ホテルの朝は大好きです。スタッフがきびきびと活気があり、今日という日に素敵なことが起きそうでワクワクします。イッタラの器でいただくヨーグルトとこのフレッシュジュースは忘れずにお召し上がりくださいね。





まずは青葉城址に向かいます。最初にお参り。



ホテルの建物は東北で一番の高さ、すぐにわかります。

2月 12ヶ月のブログリレー  
わたしの仙台ストーリー



雨が降っても雪が降ってもここで馬に乗って市内を見守る伊達政宗さま  
今、私は貴方様のお声が聴きたいです。「どうか、まだ被災地で  
厳しい生活をなさっている方々にお力をお貸しください。」



青葉城址から一ぶる仙台（仙台市内の観光地を循環する  
路線バス）に乗り、定禅寺通で降りました。

そろそろ美味しいコーヒーで一休みしたい時間。ホテルのスタッ  
フが教えてくれたお店までまいりましょう。

市内に何店舗かあるホシヤマ珈琲店はそのお客様にあわせて  
カップを選んでくれるとか。



そして私

そうか、そうきましたか。確かに良い赤、わたしの大好きな赤  
です。お見通しです。

しかも金があしらってあり豪華。光栄でございます。さらにこの  
カップ、ホシヤマ珈琲店のホームページのトップに使われていま  
す。今では手にはらないカップだそうです。ホシヤマ珈琲の他  
の店舗に行ったなら、どんなカップを選んでいただけるでしょう。  
このお店を教えてくださいましたホテルのスタッフの方は不思議と同じ  
感じのカップが出てくると話されていました。

アーケードをそぞろに歩くとご当地キャラでしょうか、ヤーヤ君  
にも会いましたよ！子どもじゃないけれど、やっぱり嬉しい。



2月

12ヶ月のブログリレー  
わたしの仙台ストーリー



さて仙台といえば牛タンを食べずには帰ることができません。広瀬通からちょっと入ったところ、ここも前述のスタッフお勧めのお店「牛タンのおやま」です。

「うーん、ウマイ！」

これを「美味しい」などと言ってはいけないのです。

「ウマイなのです、ねえご主人」

震災当時、まだガスが使えない頃におにぎりをひとつ500円で売った人がいたことに腹がたち、牛タン弁当を500円で提供なさったそうです。みなさん喜ばれたでしょうね。

さあホテルにもどって宅配でお土産を送りましょう。

妹から「東北に行くのなら、お金をたくさん使ってきてね」というミッション！

「そ、そ。そんな！」

でも頑張りました。仙台は美味しいものがたくさんありましたから。

萩の月、白松がモナカ、シベールの季節限定苺ラスク、村上餅店のずんだ餅にくるみ餅、ゆべし、それに売茶翁（ばいさおう）のどら焼きにみちのくせんべい。浦霞ご当地限定酒、仙台味噌、茄子のからし漬け、もちろんホテルからお部屋にご用意いただいたカヌレもそっといれました…家族や同僚や、あの方、この方の顔が浮かぶ瞬間です。

仙台駅では牛タンのお店でお弁当を作ってもらって、他に復興応援駅弁2つ、そうそう白謙の笹かまぼこも忘れてはいけません。

午後2時のチェックアウトは有難いですね。23時間滞在のプランは他のホテルではめったにありません。

最後に備え付けのハーブティーをいただきながら、ゆっくりと外の景色を見納めました。

もう一度来なければ…。

上質なおもてなしと最新の設備を兼ね備えたウェスティンホテル仙台での2日間は極上のひとときでした。なによりもスタッフのフレンドリーで細やかな心使い。誇りを持って仕事に励まれる皆様の姿はまぶしくみえるほどでした。きっとこのホテルに滞在されるお客様の多くが私と同じ想いを持たれると思います。

伊集院氏の言葉、旅に出て得るもの…私の場合答えはどうか「明日への元気」だったようです。体いっぱい「明日への元気」をいただいて帰ってまいりました。仙台は歴史文化があり、あわせて新しい発展もある美しい都市でした。ブログリレー2月を担当させていただき、本当にありがとうございました。

さあ、3月担当の咲山さんにバトンをお渡しします。

ウェスティンホテル仙台のおもてなしがお友達との楽しい時間を演出してくれるに違いありません。

その頃には仙台も春めいてくるのでしょうかね。

